

1 岡山大学のミッション等

1 岡山大学のミッション

“高度な知の創成・創発・継承を通じた、人類社会の持続可能な未来の実現”

岡山地域は、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」創建、備中松山藩の財政再建・教育改革など、社会課題に向き合ってきた歴史と、人・物・文化が交わる要所として多様な交流が育まれてきた地理的特色を有しています。

岡山大学は、「研究大学」として、こうした地域の歴史と特色を背景に、多様な知と人材が集い新たな知を生み出す知の交差点となり、高度な知を生み出し（創成）、分野を越えて知を融合し発展させ（創発）、未来を担う人材を育むことでその知を次世代へと受け継いでいきます（継承）。そして、学内から地域、世界へと広がる多様なステークホルダーと共に地球規模の課題解決に取り組むことで、持続可能な未来の実現に貢献します。

2 岡山大学の学位授与と教育課程編成・実施の方針

1) 学位授与方針（ディグリー・ポリシー）

従来の「学部教育」は組織に着目した教育であり「何を教えるか」が主体でしたが、岡山大学は「何を教えるか」ではなく「何を身に付けたか」が重要であると考え、卒業生の質を保証できる教育を行っていきます。そのために本学では保証すべき卒業生像を明確にし、卒業に際し、当該課程における学位を授与する要件として学生が身に付けているべき能力を明示します。

岡山大学ディグリー・ポリシー

岡山大学では、各学部所定の期間在学し、所属学部の定める授業科目を履修して、所定の単位数を取得し、以下の学士力を基本的に修得した学生に学位を授与する。

自ら進んで、課題解決に挑む実践力【実践力】

身近な課題と向き合い、解決に向けて行動することができる。

自ら問うて、課題を見出す探究力【探究力】

対象に疑問を持って、多面的な検討を加えて課題を明らかにすることができる。

語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力【コミュニケーション力】

出会いの中から違いを理解し自らを高めることができる。

基礎的かつ体系的な専門力【専門力】

それぞれの専門領域の土台となる知識、技能を生かすことができる。

自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力【教養力】

身の周りの事象に好奇心を持ち学び続けることができる。

2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1) で記した学位授与方針を効果的に実現するために、岡山大学では学部・学科等の教育単位でどのようにカリキュラムを編成し実施していくかを明確にし、学生が習得すべき教育上の力（DPで表現されるもの）を効果的に身に付けさせるために授業（カリキュラム）の編成の方針を明示します。

岡山大学カリキュラム・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）で掲げた力を修得した人材を養成するため、全学として以下の方針及び考え方に基づき、教育課程を編成し、実践します。

教育の実施方針

持続可能な社会の実践に向けて学生が主体的に学び続ける能力を育成する教育を実施します。

教育内容の考え方

主体的・対話的で深い学びの視点から、「何を教えたか」から学生が「何ができるようになったか」を重視して、以下の教育内容を提供します。

共通教育

全ての学生に共通して求められる汎用的技能の育成を目指し、他の学生と学び合う、共に育ち共に創る実践的な活動を提供します。

特に学士課程では、自身の考えと異なる人との対話や協働を進めるために必要な知識や技能を身につけるカリキュラムを提供します。

専門教育

専門領域の内容を体系的に提供することによる深い理解と、異なる専門領域の知識を統合したり、創造したりすることができる機会を提供します。

特に学士課程では、自身の考え方を豊かにする異分野の知識や技能、自身の専門を築いていく体系的かつ基礎的な専門知識及び技能を、学生同士が切磋琢磨することにより身につけるカリキュラムを提供します。

言語教育

グローバル社会を生きるうえで必要とされる英語力を伸ばす教育を提供します。

特に学士課程では、聞く、読む、話す、書くを統合した総合力を伸ばすために必要な英語、異文化理解の科目群を通じて言語を学ぶ初修外国語、留学生には日本語、それぞれを学ぶ機会を提供します。加えて、正課のみならず正課外においても言語を学ぶ機会を創出します。

教育方法の考え方

前述の教育内容を以下の方法で提供します。

①自身の可能性を主体的に広げる教育方法を展開します。

人が交わる共通教育、知が交わる専門教育、言葉が交わる言語教育を通して他者を理解し、切磋琢磨しながら、自身の可能性を広げる教育方法を実施します。

②総合大学の長をを活かした教育体系を提供します。

自らの専門を尊重しながらも、様々な専門との出会いにより、共に考え、共に動き、共に創り、共に育む教育体系を全ての課程で展開します。

③学生の成長に応じた実践的な教育プログラムを提供します。

学士課程から大学院課程で留学やインターンシップ、プラクティカム等、地域や世界とつながった実社会における学びを提供します。

学修評価の考え方

厳格な学修評価を実施します。

授業科目の成績評価については、その基準・方法を予め明示し、それらに基づいて学修成果を評価します。

正課外教育の考え方

学生が授業での学びを越えて自らの成長を実感できる正課外の機会を提供します。

【参考】

岡山大学管理学則

(大学の目的)

第10条 本学は、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究して、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、日本国家及び社会の有為な形成者を育成するとともに、学術の深奥を究めて、その成果を広く社会に提供することにより、世界文化の進展に寄与することを目的とする。

岡山大学管理学則

(大学院の目的)

第53条 岡山大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 大学院のうち、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的としたものは、専門職大学院とする。